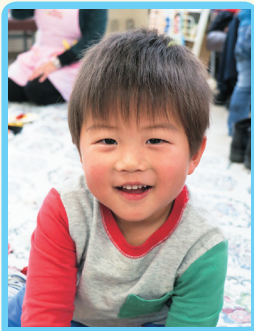


すこやか アイドル



さとうあきふみ
佐藤顯文くん(2歳)
元気にすくすく育ってね!



きりた れい
桐田 玲ちゃん(2歳)
ニコニコ笑顔の玲が大好き♡
元気に育ってね!

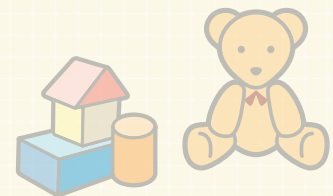


なかさとこうが
中里光冴くん(2歳)
いつもニコニコかわいいね。
いっぱい食べて遊んで元気に育ってね♡



いしばねゆうな
石羽根優菜ちゃん(2歳)
いつも歌や踊りを見せてくれてありがとう!
元気にたくさん遊ぼうね♡

※「すこやかアイドル」では、子どもの笑顔とお家の人からのメッセージを紹介し、1～5歳くらいのお子さんの写真を広報に掲載しませんか? 希望の場合は市広聴広報課(☎27-8419)までご連絡ください。



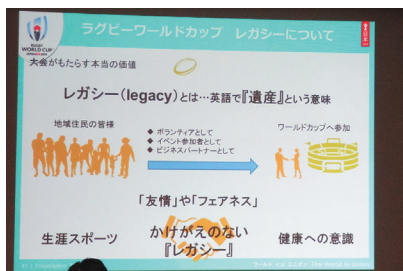
ラグビーのまち釜石 ～釜石ラグビーを盛り上げよう!!～



第5回図書館市民教養講座
「ラグビーワールドカップ2019™
釜石開催に向かって」
〔2月2日 図書館〕

ラグビーワールドカップ2019™日本大会
大会ボランティア「TEAM NO-SIDE」
オリエンテーション
〔2月16日 釜石市民ホールTETTO〕

食でつながるワールドカップ
～出場国食文化体験交流会～
〔2月26日 市内ホテル〕



釜石シーウェイブスRFCのゼネラルマネージャー兼監督で、ラグビーワールドカップ2019アンバサダーの桜庭吉彦さんが、ラグビーワールドカップの釜石開催について講演しました。桜庭さんは「ラグビーがどんなスポーツか」「ラグビーワールドカップが釜石で開催される意義」など分かりやすい言葉で説明。「ラグビーワールドカップのレガシーを引き継ぎ、地元の釜石シーウェイブスが釜石の歴史、人、地域をつなぐ役割を果たしていきたい」と力強く話しました。

オリエンテーション第1部には、県内外から集まった20代から70代までの157人が参加。自己紹介を兼ねたウォーミングアップをすると、同じ目的で参加した者同士、すぐに打ち解け笑顔がこぼれます。2015年のイングランド大会の動画を見たり、ボランティアとしての共通意識や行動について説明を受け、自ら楽しむこと、開かれた心を持つことなど心得を確認。ボランティアの皆さんは今後、活動別、会場別研修などを経て本番に臨みます。

※岩手・釜石会場の大会公式ボランティアは約700人が採用されています

県沿岸広域振興局は、ラグビーワールドカップ2019™釜石会場で試合を行う4カ国の料理や飲み物の試食・試飲会を開きました。食文化を通して、出場国への理解を深め、おもてなしの機運を醸成することが狙い。市内の飲食店や地域団体などから約100人が参加し、日本でも手に入る食材で作られた各国の料理を楽しみました。この日提供された12メニューのレシピは、同振興局のホームページで公開しています。